

要請番号 (JL01820A23)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
タイ	I102 障害児・者支援		個別	新規	2年	・2020/2・2020/3・ 2021/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

教育省

2) 配属機関名（日本語）

第5特別支援教育センター(スパンブリー)

3) 任地（スパンブリー県） JICA事務所の所在地（バンコク）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（車で約2.0時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

教育省基礎教育局は、国内77都県に、0-18歳を対象とした特別支援教育センターを配置(内12カ所は周辺地域を管轄する主要センター)、主に、センター内外の知的・身体障害児の早期教育、リハビリテーション、児童の入学前後のフォローアップ、自治体と共同で実施する家庭訪問、特別支援教育に関する各種セミナー開催等を行っている。1999年に設立された同配属先は、県内にある4つの支部を管轄する中央部の主要センターの一つである。JICA海外協力隊派遣実績はSV1名(2006-4次隊/保健・医療)。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同配属先には、主に、自閉症や身体障害、知的障害などを抱える児童約400名が登録されている。登録者は、外部の学校(特別支援学級)への通学者、センターへの通所者、在宅者(主に貧困層)、の3つのグループに分類され、自立した生活を送り、社会に参加することを目標にカリキュラムが作成されている。また、センターや支部での支援活動の他、チームによる家庭訪問を週3~4回程度実施し、通所や通学が困難な登録者とその家族を支援している。特に、自閉症児が全体の25%を占めており、日本の自閉症教育に関する知見や、アセスメント手法の共有などの活動が、JVには期待されている。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

- 1 センターや各支部における早期介入教育について、日本の事例紹介などを通じて支援や助言を行う。
- 2 コミュニティ巡回(週3~4回)を通じて、家族や介助者、同僚らへの知見共有や助言を行う。
- 3 上記コミュニケーション巡回において、個別家族支援計画(IFSP)の活用手法について知見を共有する。
- 4 配属先で実施される研修会やセミナー等で自閉症に関する対応や教育手法について知見を共有する。
- 5 他の障害に関する支援や助言が求められた場合、可能な範囲で対応する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

生活訓練室(キッチン設備、洗濯機、風呂、トイレ等)、職業訓練室(お菓子・かばん作り等)、理学療法室、作業療法室、センソリールーム、運動室(ダンベル、ランニングマシーン)、音楽室(太鼓、キーボード等)等

4) 配属先同僚及び活動対象者

- ・配属先同僚: 職員約40名
(内、教員20名、理学療法士4名、作業療法士2名、心理士2名他)
- ・活動対象者: 支援対象児約400名(内、通所者20~40名/日、外部の学校(特別支援学級)への通学者は16名)
※支部を含めた総職員数は約80名
※入所者あり(家族と同居/10家族/センター内施設)

5) 活動使用言語

タイ語

6) 生活使用言語

タイ語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]：（特別支援学校教諭）

[学歴]：（大卒） 備考：大卒以上の同僚と協働するため。

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）2年以上 備考：同僚への知見共有を行うため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯モンスーン気候） 気温：（20～37°C位） [電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水源]：（安定）

【特記事項】

一職員として、現地職員との協働を通じて、日本の知見を共有できる方、また、現在プールを工事中であるところ、プール遊びに対応できる方が望ましい。

【類似職種】